

活動案	貼ったりはがしたりできる教材（シール、マグネット、マジックテープ等）の利用
	<p>ことばを導入し、読み書きが自在にできるようになるまでには、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聞く、触れる 2. 口に出していえる 3. 見て分かる 4. 読める 5. 書ける <p>などの段階があり、発達段階に応じた指導パターンを作ると子どもが学びやすいといわれています。</p> <p><u>口に出していえる</u>、<u>見て分かる</u>段階で役立つのが、自分で貼ったり、はがしたりできる教材です。</p>

教材

ひらがな、カタカナ、漢字などの文字カード 漢字は4ピースぐらいのジグソーパズルのように切ります（部首の概念があれば部首別に）。

物語教材

人物（動物）などのキャラクターを、背景に貼り付けることで、文脈のあることばの使い方を練習します。

ホワイトボードを使った教室活動

はさみで切れるマグネット素材（100円ショップなどでも売っています）を使って、文字やカードの裏に貼ります。

机の上での学習

厚手の紙に編集のり（貼ったりはがしたりできるのり）を塗って利用します。

マジックテープを使った教材

背景をフェルト素材にし、文字やキャラクターの後にマジックテープを両面テープで貼り付けて、貼ったりはがしたりできるようにします。両面テープが既についているものが売っています。フェルトの代わりに、背景を厚紙にしてマジックテープのメスを紙に少しずつ（しっかりと）貼っておいて、貼ったりはがしたりできるようにします。